

令和6年度第2回横浜市地域公共交通会議運賃分科会

鶴見区馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区に おけるオンデマンドバス実証実験について

2024年12月

川崎鶴見臨港バス株式会社

令和6年度第2回横浜市地域公共交通会議運賃分科会

<議題内容>

馬場・上の宮・獅子ヶ谷地区等において、オンデマンドバスの運行を予定しています。それに伴い協議運賃についてご意見を伺います。

目次

- ・ 運行概要
- ・ 運行エリア
- ・ 乗降場のイメージ
- ・ 事業スケジュール
- ・ 住民、利用者その他利害関係者への説明
- ・ 運賃設定について

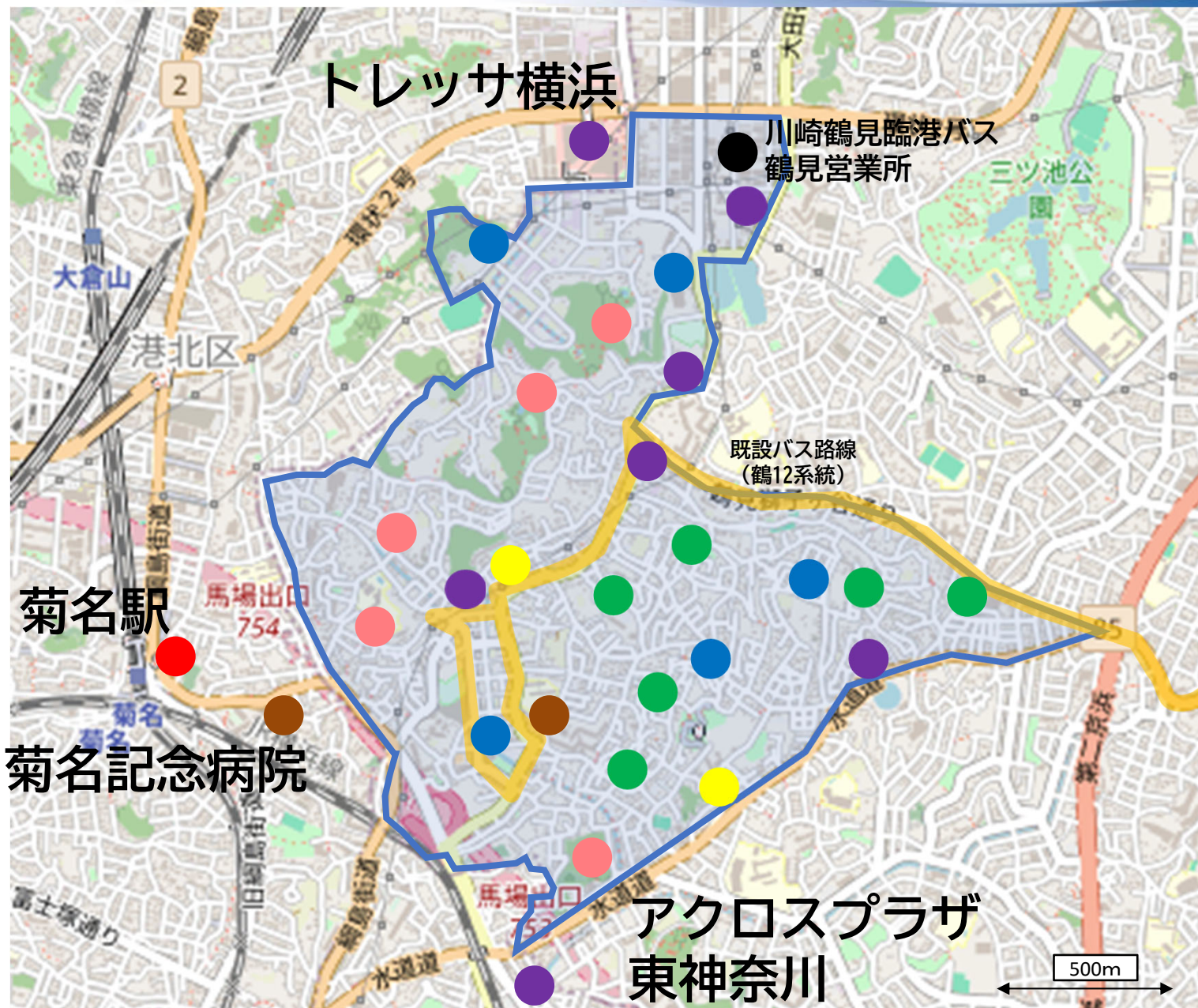
運行概要

- ・運行主体:川崎鶴見臨港バス株式会社(一般乗合)
- ・運行形態:予約による乗合送迎サービス
- ・運行期間:2025年8月～2026年3月 約8か月間
- ・運行日:日曜日と年末年始を除く毎日
- ・運行時間:8時00分～19時00分(予定)
- ・運行台数:2台
- ・運賃:大人500円 小人250円
- ・予約方法:専用アプリ、LINEを想定
- ・運行車両:ワゴン車タイプ(乗車定員8名)

【運行車両のイメージ】



運行エリア



- ・エリア内乗降場：25か所
- ・エリア外乗降場：4か所

凡例

●	菊名駅
●	川崎鶴見臨港バス 鶴見営業所
●	商業施設
●	公園
●	寺/神社
●	行政/地域施設
●	病院/クリニック
●	郵便局

【運行車両のイメージ】



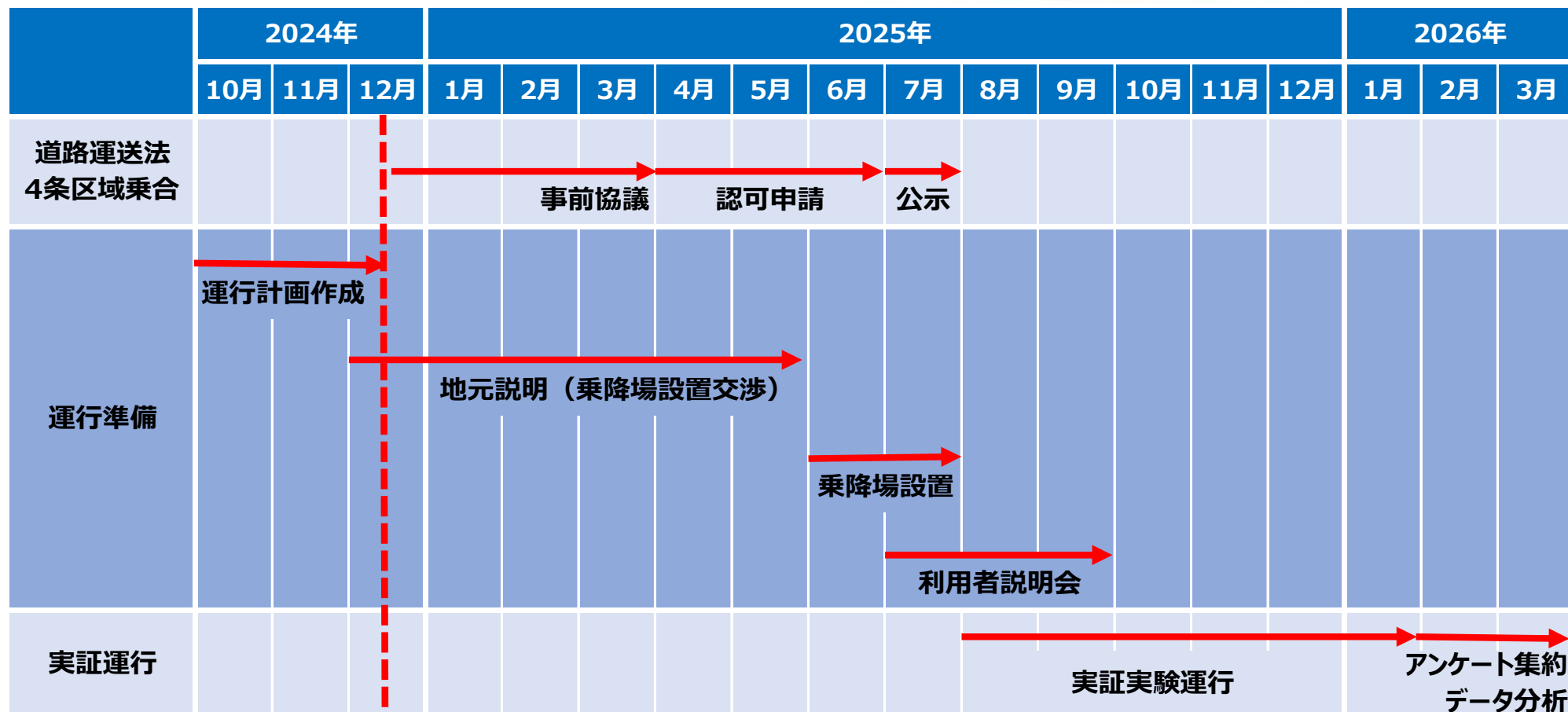
※乗降場は現在調整中であり、今後変更の可能性があります。

乗降場のイメージ ※管理者と調整中



事業スケジュール

2025年8月～2026年1月 本計画案にて運行し、実績を踏まえ運行継続可否判断
⇒運行継続の場合、2026年4月 運行エリア・乗降スポット・運賃等を見直す



地域公共交通会議

主な効果検証内容(予定)	把握方法
地域に適した運行内容となっているか(運行計画の改善に向けた検証)	利用実績データ及びアンケート調査
地域住民の外出頻度、マイカー利用頻度、移動手段の変化等	アンケート調査

※アンケート調査は、利用者だけでなく未利用者も対象

住民、利用者その他利害関係者への説明

○住民、利用者その他利害関係者の意見を反映するための措置について

・法令上の公聴会は例示にすぎないため、住民、利用者、利害関係者へ広く意見を求める手法であれば、以下の方法での意見聴取も可能です。

(例) ※ () 内は想定する対象者

①パブコメ（住民、利用者、利害関係者）

②市政広報誌（住民、利用者、利害関係者）

③自治会への説明会（住民、利用者）

④業界団体を通じた事業者説明（利害関係者）

①と②はいずれかを実施、③と④は併せて実施。 ※ ①or②or③+④

【その他】

- ・ホームページへ意見募集の掲載
- ・地域住民に対するアンケート調査 等

国土交通省資料「一般乗合旅客自動車運送事業の（運賃）協議会について（抜粋）」

③自治会への説明会（住民、利用者）

- ・寺尾第二地区連合会（11/21）
- ・寺尾地区連合会（11/22）
- ・駒岡地区連合会（11/25）

④業界団体を通じた事業者説明（利害関係者）

- ・神奈川県タクシー協会横浜支部（9/12）
- ・神奈川県バス協会（11/13）

運賃設定について

●運賃設定の考え方

・既存公共交通の運賃とのバランス

→既存の交通(路線バス・タクシー等)と比較して、過度に安価な運賃設定など、不当な価格競争になることがないよう、サービス相応の運賃とする。

・路線バス・タクシーとの差別化

→路線バスのようにバス停とバス停を結ぶ乗合型の交通である一方、タクシーのように予約に応じた運行かつ、着席可能といった双方の特徴をあわせもった交通サービスのため、運賃も路線バスとタクシーの中間程度とする。

・持続可能な交通サービスの実現

→将来にわたり持続可能な収支バランス、安全な交通サービスを提供することを前提とする。

●運賃(案)

均一制 大人 500円 小児 250円(大人運賃の半額)

オンデマンドバスは路線バス以上のサービス内容であるため、運賃も周辺を運行する路線バス(大人 220円/回)以上とする一方、タクシーよりは自由度が低いため、路線バスとタクシーの運賃の平均をオンデマンドバスの運賃とする。

＜想定＞バス220円＋タクシー740円【初乗500円＋240円(迎車400円×6割想定)】÷2＝480≒500円

＜参考＞オンデマンドバスの運賃(大人)

青葉区東部地区(21条):400円 旭区旭北地区(21条):400円

川崎地区(4条):500円 ※各地区小児半額

(参考) 周辺公共交通（バス・タクシー）運賃について

周辺公共交通の運賃比較（バス・タクシー）			
路線バス		タクシー	
川崎鶴見臨港バス	大人 220円/回 小児 110円/回	①初乗運賃 (1.091kmまで)	500円
		②加算料金 (239mごと)	100円
横浜市交通局	大人 220円/回 小児 110円/回	③迎車料金	400～500円
		④時間指定料金	400円
		⇒ ①初乗+③迎車 = 900円 時間指定をした場合 +400円 = 1,300円	

※本表は普通旅客運賃を記載

四季めぐり号における 回数券（ICカード）の導入について

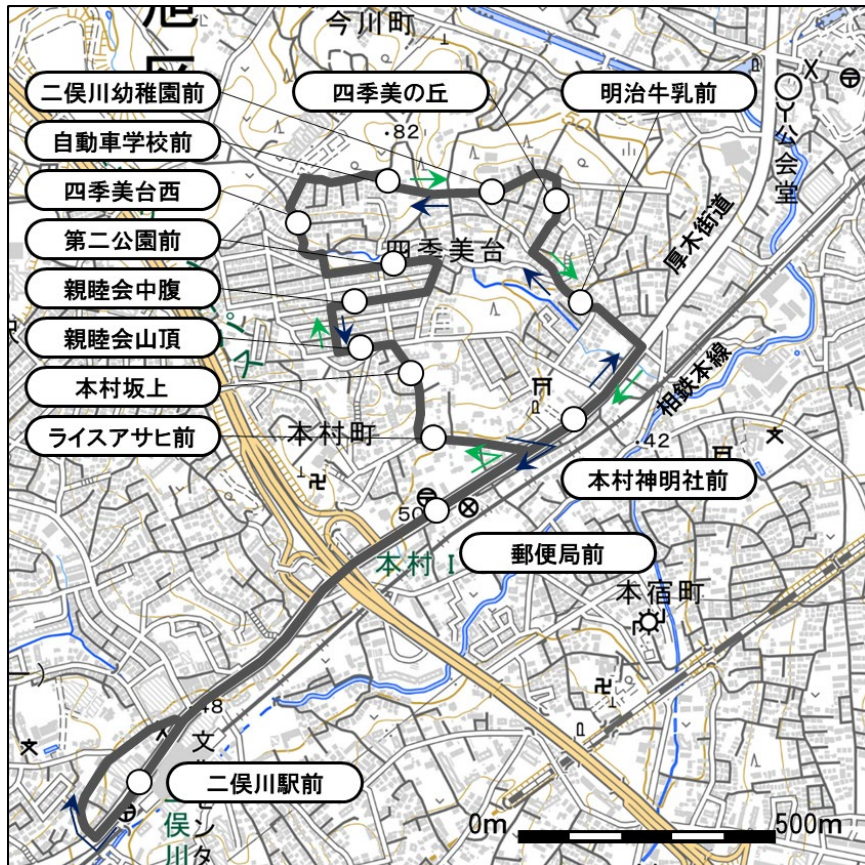
横浜市 都市整備局 都市交通課

運行概要

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA



運行事業者	ヒノデ第一交通株式会社 (第一交通産業グループ)
事業の許可	道路運送法第4条(路線定期運行)
運行区間	二俣川駅前～四季美台・今川町地区 ～二俣川駅前 (1周:約4.7km、約23分)
停留所	13か所 ※一部区間でフリー降車を実施
事業用自動車	常用車:1両(乗客定員9名) 予備車:9両 ※乗用事業と兼用
運賃	一乗車:300円 (現金又は2次元バー コード決済、未就学児は無料) 乗車券10枚セット:3,000円
運行回数	平日:15便/日 午前8時台から午後6時台まで ※土曜日、日曜日、祝日及び12月30 日から1月3日までは運休

実験概要

- ・ **経緯** データ取得について、「共創フロント」を通じて、(株)福山コンサルタントより実証実験の提案
- ・ **狙い** 本市としても、今後の地域交通施策について、運行改善や効果検証をデータに基づき、より効果的に推進を図りたいため、実証実験に協力
- ・ **方法** 既存の本格運行地区において、回数券として、ICカードを導入し、データ取得の検証を実施
- ・ **利用方法**

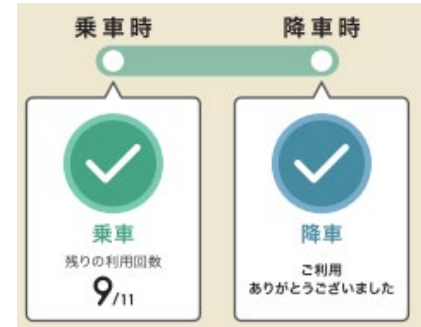
①ICカード販売、紙の乗車券と同様に車内で販売

ICカード（イメージ）



②乗降時、運転手に手渡し

運転手が専用端末にタッチし、返却する



実証実験の概要

- ・ 料金変更 ICカード利用を促すため、回数券を以下の料金で販売

【実験中】ICカード：11回 3000円（差額は㈱福山コンサルタントが負担する。）

※紙の乗車券10枚セットは、引き続き3000円で販売

- ・ 料金変更への意見 利用者・事業者ともに意見無し

- ・ 実験期間 令和7年1月10日～3月31日まで

※状況により期間延長する場合あり